

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

12月号(NO51)通巻201号

2022年12月10日(土)発行(毎月10日)

【農暦】ブラボーと叫ぶのもいいが!

○寒い日は寒い。当たり前である。北海道で積雪の映像をテレビが伝えていた。冬本番である。冷たい雨の日の翌日は眩しい朝の陽射しがことのほか温かく感じる。一日おきに寒いと温かいの天気は繰り返される。炬燵にうずくまる日とバードゴルフとの農作業の日を交互にしている感じである。現役時代のことを考えれば天国のような生活である。生涯現役などと思っていたので、天気



<ボケの花>17日撮影

に連動される生活も、満足感は今一つである。
○相撲に、サッカーワールドカップをテレビ観戦している。ドーバとの時差で深夜観戦になったが見てしまう。相撲は巴戦になり高安がまた優勝を逸したが影が薄くなっている。ラクビーの明治・早稲田戦も、スケートの宇野昌磨も熱量不足に見える。ドーハの歓喜が日本列島を席卷している

ので、ブラボーと叫ぶのもいいが、熱し易い気質が気になる。
○スポーツは見るものでなく、やるものだと思っていた時期もあったが、観戦も、直接見るからテレビ観戦に変わった。身体に恵まれず、スポーツ音痴?だが、生活の中にやるスポーツがいつもあった。5日はラクビーOB仲間の忘年会がだった。クロアチア戦を控えていた時だが、話題は近況が殆どだった。ほんの数年の出会いが今でも繋がっている。スポーツの不思議である。



<つる首カボチャ>23日撮影

○話は変わるが、ご近所さんが畑に来た。キュウイを採りながら差し上げた。葉がひらいたままの白菜を見て、今からでは結球しないよと言われた。翌日、白菜、大根、コブナなどを頂いた。何だか、物々交換しているようだ。絹さやの種を頂いていたが、蒔くタイミングを逸していた。半月遅れになった蒔いた。生育するか心配である。野菜だけではなく栽培条件を満たしていなければ育たない。当たり前のことが出来ていない。生育するかは条件を満たす対策をするか、お天気次第である。

○天気と用事の狭間が農作業になる。農作業の機会は意外とない。28日は胃カメラ検査を受けたが、健康だと思うのだが医者通いは意外に多い。篠だけ刈り、草刈りは少しづつでも続けている。ブルーベリー、キュウイの剪定は年内にしたいと思う。(了)

【楽農】<畑>黒豆の選別、小豆小量、つる首カボチャ、キュウイ収穫。草刈り、畑片付け。

【楽市】イベント等; 詩吟例会(10日)バードゴルフ大会(11日)笠吟連発表会(13日)飲み会(14日)道路里親クリーン活動(19日)川柳昼食忘年会(1日)ラクビーOB忘年会(5日)

【つぶやき=Tweet】 フランスでエリートコースを止める学生が増えている！

○7日朝のNHK ラジオでフランスの有名大学で、社会でのエリートコースを止める学生が増えている。自分の安定や利益を求めることより、貧困や温暖化問題に取り組むことを選び始めている。と、フランス在住の浅野さんが伝えていた。世の中捨てたものではないと思った。朝から温かい気分になれた。

○相田みつをのカレンダーの7日に“あなたのところがきれいだからなんでもきれいに見えるんだなあ みつを”の文言があった。汚いものばかり見えてしまう自分がいた。心が汚いからだと思う。綺麗なものを見たいなら、汚れた社会を直すことで、綺麗な心を持てるのかも知れない。かなりハードルが高いと思いながら、フランスの学生の選択をこの格言に当て嵌めていた。

○また、格言を見ながら、川柳で詠んだ“世の人は利他と利己とのふたとおり”を思い出していた。深読みすると意味深いものがある。利己を持たないと我が身が守れないと思いながらも、利己的な人の多さにうんざりする。利他が少しでも増えればその分世の中は温かいものになる。フランスのエリートの選択と共通する価値観に繋がるように見える。人類は相当に行き詰っている。富を貪れるのは止めて欲しい。と相田みつをも同じこと言いたかったのかも知れない。自選ながら迷句である。

○8日は真珠湾攻撃81周年になる。災害は忘れた頃にといいながら、覇権主義の世論の中で、戦争の反省、平和憲法が忘れられた世論を感じる。GDP 2%の43兆円の軍事予算が提案されている。2%はNATOを真似たもの？である。世界3位の軍事大国である。ウクライナで覇権主義の世論に煽られ反対の声が出しづらいこの時期とばかりと軍事大国の道へと突き進めようとしている

○入管問題は解決しないまま、今度は刑務官22人が受刑者に暴行の記事である。日本の人権感覚の無さを今さらながら思い知らされる。朝鮮人慰安婦、朝鮮人虐殺の歴史をなつかたと言いたい政治家もいる。大杉栄、伊藤野枝の虐殺は教科書から消える（既がない）のかも知れない。日本の人権感覚はかなり遅れている。

○ウクライナの富裕層へ兵役遁れの斡旋？の小さな記事があった。貧富の問題は基本にある。人権も覇権主義も同じである。貧の視点を持たないと世の中は正しく見えないと思う。特に政治家に求めたい視点である。温暖化問題も同じである。COP27でも論議されている通りである。フランスのエリート校の学生の選択も同じところにある。格言も川柳も同じのを見ているように思う。富のひずみは多くの問題の同根にある。最近の見聞きしたもので重い話にしてしまった。反省している。(了)

○断捨離考：整理したが処分中断のまま。

【後記】 楽しいものと思うが！【HP転載】



<今年も>17日撮影



<庭の花>14日撮影

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com